

## 川崎病院 研究実施のお知らせ

本院で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。  
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない  
範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さ  
い。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者  
さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下  
記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じること  
はありません。

研究課題名：心房細動患者に対する肺静脈隔離術におけるコンタクトフォー  
スと電氣的伝導間隙との関連についての検討

研究責任者氏名：

川崎病院 循環器内科 医長 高橋 怜嗣

研究期間：倫理審査承認日 ～ 2022年3月31日

研究対象疾患：心房細動に対するカテーテルアブレーションを施行した患者さ  
ん

診療科名：循環器内科

研究対象期間：2018年6月1日 ～ 2022年3月31日

研究に用いる試料・情報の種類：カルテ情報

研究目的・意義：高齢化による心房細動患者増加に伴いカテーテル治療の役割が  
重要になりつつありますが、術後再発を3割程度認め、大きな問題となってお  
ります。近年、心房細動に対するカテーテル治療が盛んに行われ、その中でも

肺静脈の周りを焼灼し電氣的に隔離（肺静脈隔離術）することができたら心房細動の再発率が低下すると言われていています。最近カテーテルと左房の接触の程度を確認できるカテーテルが開発されて臨床で使用されていますが、どの程度の接触力が適切かはまだ不明であります。本研究では肺静脈の部位毎に適切な接触の程度を調べることを目的とします。

研究の方法：コンタクトフォースセンシングカテーテル（接触の質を監視できるカテーテル）を用いて通常通り肺静脈隔離術を行います、伝導の残っている部位を調べ、接触の質との関連を調べることにより適切な接触の質を解析します。その値を用いて肺静脈隔離術を行い、伝導の残っている部位の発生率が改善するか調査します。

また、伝導の残っている部位とそれ以外の部位で比較を行い、年齢、性別、既往歴、併存症、心房細動のタイプ、経胸壁心臓超音波検査（左心房のサイズなど）、採血（クレアチニン、CRP、BNP など）など、どのような因子が関連しているかを調べます。

研究組織：川崎病院 循環器内科

高橋 怜嗣

個人情報の取り扱い：収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

本研究に関する連絡先：

川崎病院 循環器内科 担当者氏名：高橋 怜嗣

[電話] 078-511-3131